

対象器具	直付形	LEDGM10100
------	-----	------------

このたびは東芝非常用照明器具をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。お使いになる方や他人への危害と財産の損傷を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

■安全上のご注意 商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損傷を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

工事店様へ ●工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。

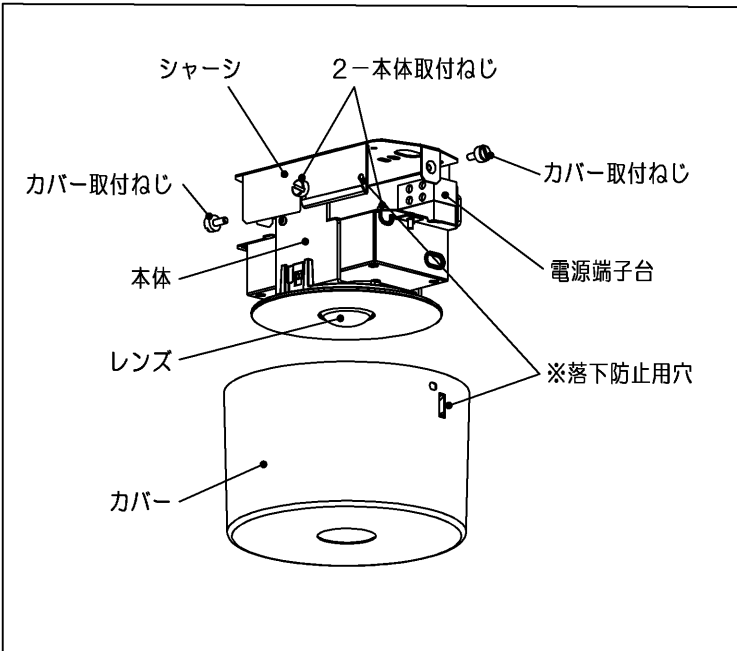
施工上のご注意

警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
禁止	●器具を改造したり、部品の追加は絶対におやめください。器具落下感電、火災の原因となります。
	●一般屋内用器具です。直接雨・風の当たる場所や、振動や衝撃のある場所、粉塵や腐食性ガス、オイルミスト、硫黄成分や塩素ガスなどが発生する場所には使用しないでください。変質、変色、絶縁不良、火災、器具落下の原因となります。
	●この器具は、防湿形ではありませんので、湯気、湿気の多い場所には使用できません。湿気の浸入による絶縁不良、感電の原因となります。
必ず実施	●レンズはガラス製のため、取扱いに注意してください。破損によるケガの原因となります。
	●器具の取り付けは、重量の耐えるところに、本体表示並びに取扱説明書の「器具の取付方法」に従ってください。取り付けに不備があると器具落下、火災の原因となります。
	●電源線接続の際は、取扱説明書の「器具の取付方法」に従って行ってください。接続が不完全な場合は接続不良による発熱、火災の原因となります。
	●器具の取り付けの際は手袋を着用してください。ケガの原因となります。

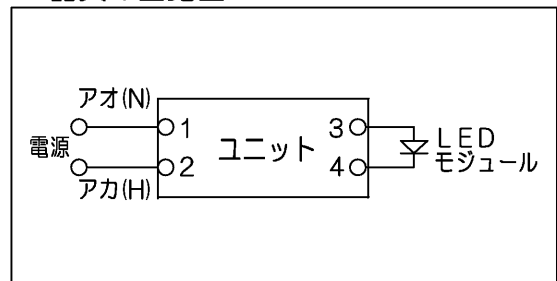
注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。
禁止	●この器具は、周囲温度5℃～35℃以外では使用しないでください。高温で使用しますと火災の原因となります。
	●表示された電源電圧(交流定格電圧±6%、直流定格電圧+45%～10%)以外で使用しないでください。間違えて使用しますとLEDモジュール、ユニットの短寿命、火災の原因となります。
	●この器具は、屋内専用です。屋外や軒下、湿気、水気のある場所で使用しないでください。絶縁不良、感電の原因となります。

お願い	●電源回路は必ず予備電源（非常用電源）からの専用回路とし、予備電源と器具の間には点滅スイッチを設けないでください。
	●この器具は非常点灯専用器具です。併用形ではありませんので平常時には点灯できません。
	●ラジオ、ワイヤレス方式の機器は、なるべく照明器具から離してご使用ください。雑音が入る場所があります。

■各部のなまえ



■器具の回路図

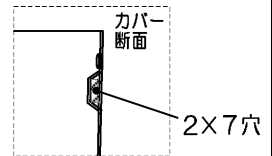
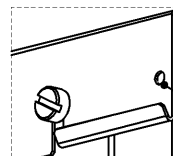


※落下防止用穴
カバーの落下防止等の目的で、
ひも等を取り付ける場合にご使用ください。

<穴寸法>

・シャーシ：φ4mm穴

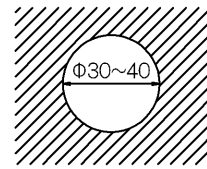
・カバー：2×7mm穴



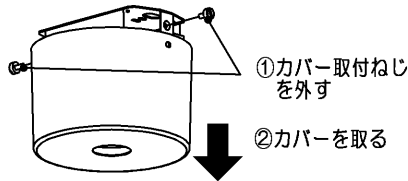
■器具の取付方法

1 器具を取り付ける前に

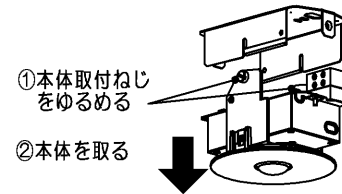
- 器具を取り付ける前に、天井の厚さを確認してください。
※薄い天井、壁面には取付ないでください。器具落下の原因となります。
- 天井にφ30～φ40の電源穴をあけてください。(図1)
- カバー取付ねじを外して、カバーをシャーシから取り外してください。(図2)
- 本体取付ねじをゆるめて、本体をシャーシから取り外してください。(図3)



(図1)



(図2)

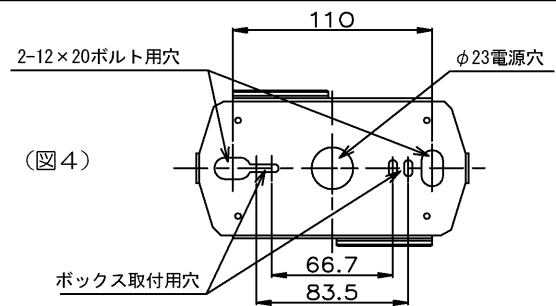


(図3)

2 シャーシの取付方法

●ねじで取り付ける場合

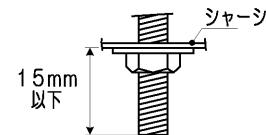
- シャーシの電源穴に電源線を引き込んでください。
- シャーシのボックス取付用穴を利用して、ねじで取り付けてください。(図4)



(図4)

●ボルト吊りにして取り付ける場合

- シャーシの電源穴に電源線を引き込んでください。
- シャーシのボルト用穴を利用して、取り付けてください。(図4)
※取付ボルトの器具内寸法は15mmを超えないようにしてください。(図5)



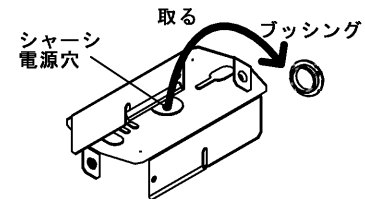
(図5)

●パイプ吊りにして取り付ける場合

適合吊装置：PW-1110、PW-3110、PW-5110、PW-8110
PW-1111、PW-3111、PW-5111、PW-8111
※吊装置に付属している取付金具は使用しません。

- シャーシの電源穴についているブッシングを取り外してください。(図6)
- 吊装置(別売)のサポート部を天井に取り付けてください。
- シャーシの電源穴から電源線と吊装置のパイプを引き込んで、パイプをシャーシに取り付けてください。
- パイプをサポート部に引っかけて結線をしてから、ロックナットで確実に固定し、吊装置のサポートカバーを固定してください。

<パイプ吊りの場合>

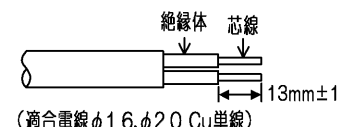


(図6)

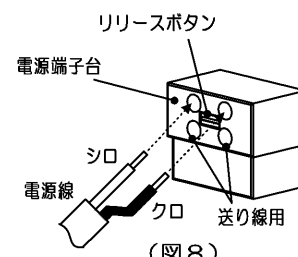
3 電源線の接続と抜きかた(電源線は耐火措置を施すか、耐火電線を用いてください。)

電源回路は必ず分電盤からの専用回路としてください。

- 電源線の被覆を所定の長さ(13±1mm)にストリップしてください。(図7)
※ただし、電源線の被覆外径がφ4.8を超える場合は端子台の表記とは異なりますが17±1mmにストリップしてください。
※器具内送り配線の場合は、図7の絶縁体の部分が100mm程度になるようにストリップしていただくと、本体の取り付けがしやすくなります。
- 電源線を(図8)のように端子台の奥まで差し込んでください。
※曲がった電線を挿入したり、ねじって挿入しないでください。
接続が不完全な場合は、感電、火災の原因となります。
※送り配線の容量は20Aまでです。
容量をオーバーすると火災の原因となります。
- 電源線を引き抜く際は、必ず電源を切り、リリースボタンをマイナスドライバーで真っ直ぐに押し込んで電源線を引き抜いてください。不完全な場合とリリースボタン以外を押した場合は、接触不良による発熱、火災、感電の原因となります。



(図7)

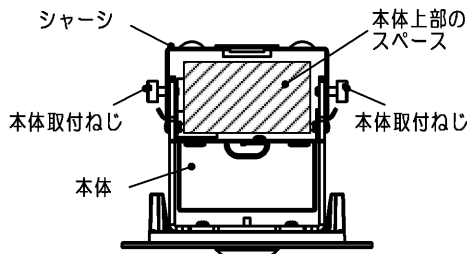


(図8)

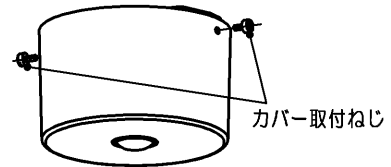
4 本体の取付方法

- ③「電源線の接続と抜きかた」に従って電源線を端子台に確実に差し込んでください。
- 電源線を本体上部のスペースに収めながら、本体取付ねじをシャーシの溝に合わせるようにして、本体をシャーシに押し付けてください。(図9)
- 本体取付ねじを締めて、本体をシャーシに取り付けてください。(図9)
※本体取付ねじはマイナスドライバで締め込んでください。
- カバーをカバー取付ねじでシャーシに取り付けてください。(図10)
※カバー取付ねじはマイナスドライバで締め込んでください。

(注) 取り付けに不備があると落下の原因となります。



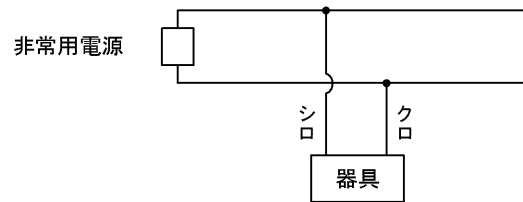
(図9)



(図10)

■配線方法

- 器具と別置の予備電源(非常用電源)間の配線は耐熱配線として専用回路にしてください。
- 配線の途中には、点滅器(壁スイッチ)等は設けないでください。



- 耐熱配線とは
原則:840°C30分の耐熱試験に耐える耐火措置をした配線をいいます。
施工場所や使用電源により、耐火措置の方法が異なります。

■仕様

形名	非常用電源 定格電圧	入力電流	消費電力	容量	光源	質量
LEDGM10100	交流 50Hzまたは60Hz 100V	交流 158mA	15.7W	15.8VA	LED	0.92kg
	直流 100V	直流 158mA	15.8W			

東芝非常用照明器具点検カード

設置年 月 日 設置場所

点検年月日 点検箇所(チェック) 点検者






点検年月日	点検箇所(チェック)	点検者	点検年月日	点検箇所(チェック)	点検者
・ ・	外観 切替 性能		・ ・	外観 切替 性能	
・ ・	外観 切替 性能		・ ・	外観 切替 性能	
・ ・	外観 切替 性能		・ ・	外観 切替 性能	
・ ・	外観 切替 性能		・ ・	外観 切替 性能	
・ ・	外観 切替 性能		・ ・	外観 切替 性能	
・ ・	外観 切替 性能		・ ・	外観 切替 性能	
・ ・	外観 切替 性能		・ ・	外観 切替 性能	
・ ・	外観 切替 性能		・ ・	外観 切替 性能	
・ ・	外観 切替 性能		・ ・	外観 切替 性能	
・ ・	外観 切替 性能		・ ・	外観 切替 性能	
・ ・	外観 切替 性能		・ ・	外観 切替 性能	
・ ・	外観 切替 性能		・ ・	外観 切替 性能	
・ ・	外観 切替 性能		・ ・	外観 切替 性能	
・ ・	外観 切替 性能		・ ・	外観 切替 性能	
・ ・	外観 切替 性能		・ ・	外観 切替 性能	
・ ・	外観 切替 性能		・ ・	外観 切替 性能	
・ ・	外観 切替 性能		・ ・	外観 切替 性能	


点検責任者

切り取って必ず保存してください




お客様へ ●この器具の取付工事は必ず電気工事店に依頼してください。
●照明器具の電気工事は、主任電気工事士の管理が義務付けられています。



使用上のご注意

	警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 必ず実施	●器具を布や紙などの可燃物で覆ったり、被せたり、燃えやすいものに近づけたりしないでください。火災の原因となります。
	●お手入れの際は、電源を切ってから行ってください。感電、やけどの原因となります。
	●器具を改造したり、部品の追加は絶対におやめください。器具落下、感電、火災の原因となります。
	●器具のすきまなどに針金などを差し込まないでください。ケガや感電、火災の原因となります。
	注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。
 禁止	●点灯中および消灯直後（約30分）はLEDモジュールや器具が高温となっていますので、手を触れないでください。やけどの原因となります。
	●使用者は、この照明器具のLEDモジュールは交換しないでください。
 注意	●この器具の平均的な寿命の目安は、使用条件、使用環境によって異なりますが、約10年です。定期的に工事店などの専門家による点検を実施してください。
	●点灯中LEDモジュールを直視するのはおやめください。目に悪影響を及ぼすおそれがあります。

	お願い
●3ヶ月に1回は破損、変形などの外観点検を行ってください。 6ヶ月に1回はLEDモジュールの明るさの機能点検を行ってください。	
●点検終了後、点検結果を付属の点検カードに記入してください。	
●虫の飛来が多い場所で使用される場合、LEDモジュールに虫が侵入する恐れがあります。	

お手入れのしかた

	注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。
 注意	●器具のお手入れは、電源を切ってから行ってください。 器具が汚れたときは、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼってからふきとってください。
	●ガソリンやシンナー、ベンジン、アルコールなどの薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。 変質、変色の原因となります。
 禁止	●金属部分をクレンザーや、たわしでみがかないでください。 傷つけたり、腐食の原因となります。
	●アルカリ系洗剤は使用しないでください。 強度低下による破損の原因となります。
●照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換をおすすめします。 ●1年に1回は「安全チェックシート」により自主点検、および定期的に工事店等の専門家による点検を実施してください。 （「安全チェックシート」は弊社ホームページに掲載しております。） ●点検せずに長期間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。	

保証とアフターサービス	
弊社ホームページに掲載のメーカー保証規程をご確認ください。 修理を依頼されるときは『修理サービス規程』をご確認ください。	
メーカー保証規程： https://www.tlt.co.jp/tlt/support/warranty/warranty_policy.htm	
修理サービス規程： https://www.tlt.co.jp/tlt/support/repair_service/repair_policy.htm	
ご不明な点並びに修理に関するご相談は、お買い上げの販売店（工事店）または弊社ご相談センターにお問い合わせください。その際は商品の形名、お買い上げ時期、故障の状況などをお知らせください。	
	
メーカー保証規程 修理サービス規程	

保証について

- メーカー保証期間は、商品お買い上げ日より（引き渡し日）3年間です。但し、リモコンなどの付属品は、製品の保証期間にかかわらず、1年間です。

補修用性能部品の保有期間

弊社は、照明器具の補修用性能部品の製造打ち切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
※補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。
※材料の終息等により、保有期間前に修理できない場合があります。

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は
お買い上げの販売店へご相談ください。
販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝ライテック商品ご相談センター	
0120-66-1048 （通話料：無料）	<ul style="list-style-type: none"> ●お客様からご提供いただいた個人情報や、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。 ●利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社へ、お客様の個人情報を提供する場合があります。
携帯電話 046-862-2772（通話料：有料）	
FAX 0570-000-661（通話料：有料）	
ホームページアドレス https://www.tlt.co.jp/	

日本国内専用
Use only in Japan

東芝ライテック株式会社 〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34

お客様はお読みになった後も必ず保管してください。